

工業・流通拠点
エム・ケーが着工
神奈川・海老名
運動公園地区

エム・ケー（東京都日野市、小林勤社長、042・589・0222）は、神奈川県海老名市の「海老名運動公園周辺地区土地区画整理事業」の造成に着工した。首都圏中央連絡自動車道（圏央道）海老名インターチェンジ（IC）に近い約11・8畝の工業・流通拠点整備が動き出す。同地区は東京から40

キロ圏内、横浜から20キロ圏内で、首都圏の玄関口と位置付けられる。エム・ケーは同地区土地区画整理組合の業務代行者として地権者約96人中64人との間で土地売買契約を交わす、企業誘致と土地の販売を手がける。清水建設も業務代行者として設計・施工を担う。同組合は2016年11月に設立が認可された。18年度中に造成工事を終え、20年3月に組合が解散する予定。